

## 3月25日に講堂で行う卒業式

名大では、今年も3月25日に豊田講堂で卒業式（学部学生・大学院博士課程前期課程）が行われます。

1939(昭和14)年に創立された名古屋帝国大学が、初めて卒業式を行ったのは1940年3月19日です。この時卒業したのは、創立時に名古屋医科大学から医学部に編入した学生たちでした。その後、戦時体制のため修業年限が短縮された関係で、1942年度からは9月に卒業式を行うようになりました。

戦後、1948年(1947年度)から再び3月に行うようになりましたが、3月25日が大学の休業日でなければその日、休業日の場合は次の月曜日に執り行うという原則となったのは1953年からです。

卒業式の会場は、名帝大創立以来、豊田講堂が建設されるまでは、鶴舞キャンパスの附属図書館内の講堂を通例としていました。ただ、1953年だけは、鶴舞公園内の名古屋市公会堂を使用しました。大学の記録によると、この年初めて新製の卒業生を送り出すあたり、新製の卒業生と旧製の卒業生の式を一緒に行う

か否かを審議した結果、名古屋市公会堂で一斉に行うことになったとされています。3月25日に名大の講堂で行うというあり方が始まるのは、1954年からになります。

豊田講堂を会場としたのは1960年からです。前年の伊勢湾台風の影響で工事が遅れ、躯体工事は完了したものの竣工はしていませんでしたが（竣工は5月）、それでも卒業式と入学式は豊田講堂で行いました。

また、長い間、25日が土曜日でも行っていました。1990年代に入り土曜日が休業日になると、27日の月曜日に行うようになりました。

1954年以降で、これらの原則から外れたことが一度だけあります。それは2007(平成19)年で、3月23日の金曜日に愛知県体育館で行いました。豊田講堂が全面改修・増築工事で使えなかったためです。



- 1 卒業式の日、鶴舞の附属図書館（左）を背景に記念写真を撮影する法学部卒業生（1958年3月）。
- 2 附属図書館内の講堂で行われた最後の卒業式（1959年3月）。
- 3 未完成の豊田講堂で行われた1960年（1959年度）の卒業式。
- 4 愛知県体育館で行われた2007年（2006年度）の卒業式。
- 5 2018年（2017年度）の卒業式。戦時体制下の修業年限短縮の影響で1947年度に卒業式を2回行ったため、2017年度が80回目の卒業式であり、本年度は81回目となる。

BRIEF HISTORY OF NAGOYA UNIVERSITY

### 名古屋大学基金のご案内

名古屋大学が優れた人材輩出や世界的な研究成果により、今後も日本や地域に貢献し続けるには、安定した独自財源が必要です。「名古屋大学基金」はその基盤であり、皆様からのご寄附を、さまざまな事業に活用させていただきます。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄附のお申込み、お問い合わせはDevelopment Office（DO室）あて（電話052-789-4993、Eメールkikin@adm.nagoya-u.ac.jp）にお願いいたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

名古屋大学基金



<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>

アクセスはこちらから▶

### 特定基金

名古屋大学基金の中には、研究推進や人材育成など、支援目的を特定してご寄附いただける事業もご用意しております。

